

## 郷土資料館の展示をリニューアルしました(令和2年3月)

このたび、郷土資料館の資料整理をおこない、館内を「昔の暮らし」「水のめぐみ」「米づくり」「藁工品」という4つのブースに分け、以前より見やすくしました。吉川市の概要や歴史を紹介するパネルも新設しました。

火鉢や足踏みミシン、羽釜など、懐かしい生活道具や農具など約200点を展示しています。

ぜひ、リニューアルした郷土資料館にお越しください。



新型コロナウイルスの感染防止のため、消毒液の設置や人数制限を行っています。また、来館者にはマスクの着用や入館者票の記入をお願いしています。

開館：3月～5月、9月～11月の毎週土曜日

時間：午前10時～午後4時

住所：吉川市中井2-151-1



## 市内に残る伝染病の記憶

関新田にある墓地の一角、利哲庵というお寺があった場所に、一体のお地蔵さまが祀られています。この地蔵尊は明治31年、赤痢や他の流行病で亡くなった人を供養するために建てられました。

この頃の埼玉県では、赤痢に腸チフス、天然痘など感染症の流行が重なりました。特に赤痢は猛威をふるい、明治29年から32年の4年間で患者は12,483人、このうち3,752人が亡くなっています※。

感染症に苦しんできた人々の記憶と願いを地蔵尊は伝えています。



墓地内のため、見学はご遠慮願います。

※『新編埼玉県史 別編5 統計』より

## パネル巡回展を行っています

今年度は、吉川市出身の3名の偉人をテーマに取り上げ、その活躍を紹介しています。公選2代目の埼玉県知事大沢雄一、(株)タカラトミー創業者の富山栄市郎、土俵だわらづくりで相撲を支えた宮崎吉之助。あわせて、昭和40年ごろの八坂まつりや昭和30年ごろの選挙風景など、ゆかりの地の古い写真も展示しています。

市内小学校及び公共施設にて展示します。ぜひお近くの施設でご覧ください。



「かつやくした吉川市の先人たち」パネル展

### 【公共施設での展示予定】

令和3年

- ・おあしす(エントランス) 1月4日(月) ~ 1月14日(木)
- ・美南地区公民館 1月19日(火) ~ 1月28日(木)
- ・中央公民館 1月28日(木) ~ 2月10日(水)
- ・旭地区センター 2月10日(水) ~ 2月25日(木)



見に来てね!

## 市史編さん事業で収集した資料を整理しています

市史編さん過程で収集した古文書の整理や吉川市に関する新聞記事の整理など多くの業務を行っています。

◆文化財保護担当では、新型コロナウイルス感染症流行下の市内の様子を記録しています。現在の状況を次世代に伝えるため、コロナ関連の資料の収集に努めています。



市史編さん室からのお願い

**古い文書や写真をお持ちではありませんか？**

市史編さん室では、吉川市に関する古い文書や写真、道具等を所有する方のご協力をいただき、調査を行っています。たとえどんなに汚れていても、ホコリをかぶっていても、カビが生えていても、まずはご一報ください！

問合せ：生涯学習課 文化財保護担当 ☎984-3563

文化財・市史編さんだより

第4号

令和2年10月1日

**発行**

吉川市教育委員会

生涯学習課 文化財保護担当

〒342-8501

吉川市きよみ野一丁目1番地

電話 048-984-3563(直通)